

村松公美子, 村松芳幸, 下条文武: 薬物療法が無効であった過敏性腸症候群に対して絶食療法を施行した一例, 第9回こころのケア研究会新潟支部会, 2008年10月3日, 新潟市, 2008.

- 5) 田中 裕: 周術期管理に苦慮した解離性同一性障害患者2例の歯科管理経験, 第63回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2008年11月13日, 新潟市, 2008.
- 6) 清野宏幸, 前田健康, 瀬尾憲司, 染矢源治: マウスを用いた下顎神経の絞扼性損傷モデルにおける行動生理学的および免疫組織学的観察, 第68回新潟麻酔懇話会, 第47回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会, 2008年11月29日, 新潟市, 2008.

【その他】

- 1) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 清野宏幸: 新潟県歯科医師会主催救急講習会, 2008年7月27日, 新潟市.
- 2) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 清野宏幸: 医療法人徳真会主催救急講習会, 2008年8月31日, 新潟市.
- 3) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 清野宏幸: 新潟県歯科医師会主催救急講習会, 2008年9月21日, 新潟市.
- 4) 清野宏幸: 第IV期デンツブライ賞 基礎部門ポスター 学会賞受賞 (演題: 清野宏幸, 瀬尾憲司, 清野宏幸, マウスにおける下顎神経絞扼性損傷後の触覚閾値変化に関する研究), 第36回日本歯科麻酔学会総会, 2008年10月8-10日, 吹田市.
- 5) 倉田行伸: 平成20年度中久喜学術賞 受賞 (演題: 倉田行伸, 豊里 晃, 瀬尾憲司, 染矢源治: プロポフォール静脈内鎮静法における嚥下反射の抑制に関する研究—呼吸・循環動態との関係を含めて—), 第36回日本歯科麻酔学会総会, 2008年10月8-10日, 吹田市.
- 6) 瀬尾憲司, 他: 新潟大学医歯学総合病院 ICLS インストラクター, 2008年4月5日, 新潟市.
- 7) 瀬尾憲司, 他: 新潟大学医歯学総合病院 ICLS インストラクター, 2008年4月12日, 新潟市.
- 8) 瀬尾憲司, 他: AHA BLS プロバイダーコースインストラクター, 2008年4月19日, 新発田市.
- 9) 瀬尾憲司, 他: AHA BLS プロバイダーコースインストラクター, 2008年6月22日, 新潟市.
- 10) 瀬尾憲司, 他: AHA BLS プロバイダーコースインストラクター, 2008年10月25日, 新潟市.
- 11) 弦巻 立: AHA BLS プロバイダー取得, 2008年10月25日, 新潟市.
- 12) 瀬尾憲司: AHA BLS コアインストラクター資格取得, 2008年12月20日, 福島市.

口腔生命福祉学科

【論文】

- 1) Corbet E, Akinwade J, Duggal R, Gebreegziabher G, Hirvikangas H, Hysi D, Katrova L, Karaharju-Suvanto T, McGrath C, Ono K, Radnai M, Schwarz E, Scott J, Sixou J-L, Soboleva U, Uoshima K, Yaneva-Ribagina K, Fox C: Staff recruitment, development and global mobility. *European Journal of Dental Education* 12 (Supplement 1): 149-160, 2008.
- 2) Al-Gunaid T, Asahito T, Yamaki M, Hanada K, Takagi R, Ono K, Saito I: Relapse tendency in maxillary arch width in unilateral cleft lip and palate patients with different maxillary arch forms. *Cleft Palate-Craniofac J* 45(3): 278-283, 2008.
- 3) Sawair FA, Cheng J, Yamazaki M, Al-Eryani K, Khraisat A, Ono Y, Kito K, Ono K, Takagi R, Saku T: Epithelioid hemangioendothelioma of the tongue: a report of solitary and multiple lesions in two young children. *Oral Med Pathol* 13: 15-20, 2008.
- 4) Komatsu Y, Galicia JC, Kobayashi T, Yamazaki K, Yoshie H. Association of interleukin-1 receptor antagonist +2018 gene polymorphism with Japanese chronic periodontitis patients using a novel genotyping method. *Int J Immunogenet* 35(2): 165-70, 2008.
- 5) Honda T, Aoki Y, Takahashi N, Maekawa T, Nakajima T, Ito H, Tabeta K, Okui T, Kajita K, Domon H, Yamazaki K. Elevated expression of IL-17 and IL-12 genes in chronic inflammatory periodontal disease. *Clin Chim Acta*. 395(1-2): 137-141, 2008.
- 6) Domon H, Takahashi N, Honda T, Nakajima T, Tabeta K, Abiko Y, Yamazaki K. Up-regulation of the

- endoplasmic reticulum stress-response in periodontal disease. Clin Chim Acta, 401 : 134-140, 2009.
- 7) Seymour GJ, Ford PJ, Cullinan MP, Leishman S, West MJ, Yamazaki K. Infection or inflammation : The link between periodontal and cardiovascular diseases. Future Cardiology 5(1) : 5-9, 2009.
 - 8) Linlin Han, Akira Okamoto, Masayoshi Fukushima, Takashi Okiji : Evaluation of flowable resin composite surfaces eroded by acidic and alcoholic drinks, Dent.Mater.J, 27(3), 455-465, 2008.
 - 9) Sharmin F, Stegaroiu R, Okada N, Kitamura E, Kurokawa K, Yagi M, Nomura S. Effect of post type and loading condition on the failure resistance and primary failure mode of flared canal teeth restored with fiber-reinforced or cast posts. 新潟歯学会誌 39(1), 15-24, 2009.
 - 10) T. Hiroto, A.Yoshihara, H. Ogawa, K.Ito, A.Igarashi, H.Miyazaki : Salivary spinability and periodontal disease progression in an elderly population. Archives of Oral Biology 53 : 1071 - 1076, 2008.
 - 11) Y. Sakai, K.Sugita, M.Kawasaki, S.Nomura, A.Igarashi : Effects of hardness, taste and amount of low gel strength agar on swallowing in young and elderly subjects. Journal of Home Economics of Japan Vol 60, No 2 : 133-138, 2009.
 - 12) 鈴木昭, 藤沢直子, 水品きく枝, 馬場菜緒, 堀井愛子, 笠井友治郎 : 裁判例にみる子ども虐待死過程の実証的研究 - パワレスな人々の支援に向けたEBP (evidence based practice) を目指して -. 子どもの虐待とネグレクト : 10 (1) : 54-65, 2008.
 - 13) 古里美幸, 森田修一, 朝日藤寿一, 小野和宏, 高木律男, 齊藤 力, 齋藤 功 : 片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について. 日口蓋誌 33 (1) : 42-56, 2008.
 - 14) 児玉泰光, 小野和宏, 嵐山貴徳, 大関康志, 土田正則, 高木律男 : NSAIDs 胃潰瘍を併発した超高齢者における歯性降下性壊死性縦隔炎の1例. 日口外誌 53 (9) : 541-545. 2008.
 - 15) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 安島久雄, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康 : 生涯学習能力に対するPBL テュートリアル の効果. 日歯教誌 24 (2) : 145-149, 2008.
 - 16) 筒井 睦, 嘉藤幹夫, 大東道治, 富沢美恵子 : 色選択法による知的障害児・者の歯科診療前後における心理状態の把握. 小児歯誌, 46 (4) : 446-454, 2008.
 - 17) 富沢美恵子, 飯澤二葉子 : 小児の口腔疾患—病理組織診断から—. 新潟歯学会誌, 38 (2) : 1-11, 2008.
 - 18) 福島正義 : 歯のホワイトニング / ホワイトニングの現状と意義, 歯科審美, 20 (2) ,114-116, 2008
 - 19) 韓 臨麟, 砂田 賢, 岡本 明, 福島正義, 興地隆史 : エナメル質亀裂の発生状況と関連症状に関する臨床調査, 日歯保存誌 51 (6) : 614 ~ 621, 2008.
 - 20) 筒井 睦, 佐野富子, 田口 洋, 富沢美恵子 : 歯科診療における小児の心理状態と行動の把握—CFSS-DS, Faces Rating Scales および色選択法を用いた検討—. 新潟歯学会誌, 38 (2) : 29-36, 2008.
 - 21) 隅田好美 : 患者・家族・専門職における〈認識のズレ〉—筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者への支援—, 日本社会福祉学会社会福祉学, 49 (2) : 150-161, 2008
 - 22) 五十嵐敦子 : QOL の向上を目指して—更年期におけるドライマウスと味覚障害—. 更年期と加齢のヘルスケア 第7巻 : P.161 ~ 165, 平成20年6月 2008
 - 23) 船山さおり, 伊藤加代子, 濃野 要, 人見康正, 宮崎秀夫, 井上誠, 五十嵐 敦子 : ワッテ法と吐唾法による唾液分泌量の比較. 新潟歯学会誌, 38 (2) : 37-43, 2008
 - 24) 江川広子, 別府 茂, 八木 稔, 黒瀬雅之, 山田好秋 : 咀嚼・嚥下機能障害評価基準の指針策定に向けた介護保険施設実態調査, 日咀嚼誌, 18 : 37-48, 2008.
 - 25) 別府 茂, 江川広子, 八木 稔, 黒瀬雅之, 山田好秋 : 介護保険施設で提供される食事形態の分類—全国の介護保険施設の実態調査—, 日咀嚼誌, 18 : 101-111, 2008.

【著書】

- 1) 小野和宏 : 第11章レポートを書く. 歯学スタディ・スキルズ (前田健康監修, 小野和宏編集), 104-114 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2008.
- 2) 小野和宏 : 口腔粘膜百景. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 98-101 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 3) 小野和宏 : 田中浩二さんの悲惨な朝. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 189-191 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.

- 4) 小林正治, 小野和宏: 中村孝雄さんの悲惨な叫び. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 204-207 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 5) 小林正治, 小野和宏: 斉藤千代さんの心配事. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 250-253 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 6) 富沢美恵子: 歯科衛生学・臨床歯科学Ⅲ・臨床歯科学Ⅳ PBL シナリオ, PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修), 120-133, 201-203, 247-249 頁, 新潟大学歯学部, 2009.
- 7) 福島正義: 日本老年歯科医学会編: 老年歯科医学用語辞典, 分担執筆&編集, 医歯薬出版, 東京, 2008 年 3 月
- 8) 鈴木昭: N市における児童家庭相談の展開. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 160-164 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 9) 鈴木昭: 里帰り出産, 児童手当の行方. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 165-168 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 10) 鈴木昭: M君の施設入所は?. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 169-172 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 11) 鈴木昭: A子ちゃんの延十方針は?. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 173-176 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 12) 鈴木昭: 我が家のワークライフバランスはどこへ. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 177-181 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 13) 鈴木昭: 顔を出さなくなったA子さん. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 182-185 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 14) 八木 稔: 第9章エクセルを使う. 歯学スタディ・スキルズ (前田健康監修, 小野和宏編集), 88-98 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2008.
- 15) 八木 稔: 斑状歯発生に関する訴訟. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 46-47 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 16) 八木 稔: 歯科医師と歯科衛生士の会話. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 48-49 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 17) 八木 稔: 竹内ご夫婦のおなやみ. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 94-97 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 18) 八木 稔: 時田有三さんの歯と口腔の健康づくり その1. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 102-103 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 19) 八木 稔: 時田有三さんの歯と口腔の健康づくり その2. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 104-105 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 20) 八木 稔: 時田有三さんの歯と口腔の健康づくり その3. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, ステガロユ・ロクサーナ編集), 105-106 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.
- 21) Stegaroiu Roxana: 人体のしくみ・歯科衛生学・臨床歯科学Ⅱ・臨床歯科学Ⅲ PBL シナリオ. PBL テュートリアル・ガイドブック (前田健康監修, 小野和宏, 林 孝文, Stegaroiu Roxana 編集), 57-58 頁, 108-119 頁, 186-188 頁, 208-209 頁, 新潟大学歯学部, 新潟, 2009.

【商業誌】

- 1) 浅井哲也, 風間龍之輔, 興地隆史, 福島正義: 進化し続ける歯科用 CAD/CAM 「CEREC」 システムー CEREC3 MCXL, Biogeneric Algorism および CEREC Blocs について, デンタルダイヤモンド 第33巻第2号, 136-142, 2008
- 2) 韓 臨麟, 福島正義, ホワイトニングが歯の表面構造に与える影響, ザ・クイんテッセンス, 27 (4), 3-5, 2008

【研究成果報告書】

- 1) 西澤正豊, 隅田好美, 野水伸子, 大平勇二, 井浦正子, 渡部ミサヲ, 尾崎陽子, 齋藤 博, 小池亮子: 新潟県難病相談支援センターの活動と課題, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業, 特定疾患の自立支援体制の確立に関する研究, 平成 19 年度総括・分担研究報告書, 2008

【講演・シンポジウム】

- 1) 鈴木 昭：新潟歯学会第1回例会 教授就任講演，新潟市，平成20年7月19日。
- 2) 鈴木 昭：パワレスな人々の支援にむけて—子ども虐待死過程の研究から—。平成20年度鈴木昭：もっと人のそばへ—人生の応援としての福祉—。第14回新潟県老人福祉施設研究大会第6分科会，新潟県老人福祉施設協議会，平成20年9月25日。
- 3) 鈴木 昭：子どもたちの健全育成を図るために—地域全体で子どもの養育を支える地域ネットワークを考える—。第58回新潟県民福祉大会第4研究集会，妙高市，平成20年10月25日。
- 4) 鈴木 昭：社会貢献活動体験研修の意義。新潟県教育センター平成20年度 教職12年経験者研修（小・中・高・特），上越市平成20年11月18日，長岡市11月20日，新潟市11月21日。
- 5) 小野和宏：新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価。特色GP新潟大学シンポジウム「学生主体の三位一体新歯学教育過程—社会に貢献する包括的歯科医師の育成を目指して—」，新潟市，2008年11月22日，平成20年度特色ある大学教育支援プログラム新潟大学シンポジウム報告書：41-45頁，2009。
- 6) 富沢美恵子：口腔生命福祉学科4年間の歩みと今後の展望。平成20年度新潟大学歯学部同窓会学術講演会，新潟，2008年4月26日。
- 7) 山崎和久：歯周疾患と全身疾患—マウス実験的歯周炎モデルでの解析—，大阪大学大学院歯学研究科大学院セミナー，2008.5.21
- 8) 山崎和久：歯周疾患における自然免疫機構と病態。先端的バイオロジーと歯科保存臨床の連携—歯科保存領域の自然免疫と臨床応用への可能性—，日本歯科保存学会2008年度春季学会（第128回），新潟，2008.6.6，日歯保存誌51：13，2008
- 9) 山崎和久：歯周疾患と全身疾患 日本大学大学院特別講義 2008.7.18
- 10) 山崎和久：歯周疾患における免疫応答と病因の関連—口腔粘膜における感染防御機構。第18回日本口腔粘膜学会総会・学術集会，東京，2008.9.19，第18回日本口腔粘膜学会総会・学術集会プログラム・抄録集：40，2008
- 11) 山崎和久：歯周疾患と冠動脈疾患との関連。日本歯科大学新潟生命歯学部エキスパートセミナー 2008.10.3
- 12) Yamazaki, K：T-cell Regulations In Periodontal Diseases. Research seminar at University of Otago. March 26,2009
- 13) Yamazaki K.: The link between periodontal and cardiovascular diseases: perspective in the animal study. Research Seminar at Louisville University, March 30, 2009.
- 14) Stegaroiu Roxana: Education for medically compromised patients in EU. 第17回日本有病者歯科医療学会総会，新潟市，2008年4月6日，同学会総会プログラム・抄録集：38-40頁，2008。
- 15) 福島正義：シンポジウム座長／口腔バイオフィルムの感染制御戦略を考える，日本歯科保存学会2008年度春季学術大会（第128回），新潟，平成20年6月5日，日歯保存誌，51巻，P4，2008年
- 16) 福島正義：シンポジウム1／市民フォーラム「笑いと健康」／幼少時抗菌薬の内服と変色歯の発現—テトラサイクリン変色歯—，第19回日本歯科審美学会総会・学術大会プログラム・抄録集 P33，新潟，平成20年10月12日

【学会発表】

- 1) K. TABETA¹, X. DU², L. MINQI¹, T. MAEKAWA³, N. TAKAHASHI³, N. AMIZUKA¹, K. YAMAZAKI¹, and B. BEUTLER. A Novel Mutation of COL1A1 Confers a Defect of Osteogenesis. 86th General session of the IADR, July 4, 2008.
- 2) S. BOHNSTEDT¹, M.P. CULLINAN², P.J. FORD¹, S. LEISHMAN¹, B. WESTERMAN¹, J.E. PALMER¹, P.S. BIRD¹, M.J. WEST¹, R.I. MARSHALL¹, K. YAMAZAKI³, and G.J. SEYMOUR⁴. Antibody Response to *Porphyromonas gingivalis* Strains in Cardiovascular Patients. 86th General session of the IADR, July 4, 2008.
- 3) S. BOHNSTEDT¹, P.J. FORD¹, S. LEISHMAN¹, M.H. SANKEY², V. ANDERSON², J.E. PALMER¹, T. HOLCOMBE³, P.S. BIRD¹, K. YAMAZAKI⁴, R.I. MARSHALL¹, M.J. WEST¹, G.J. SEYMOUR⁵, and M. CULLINAN⁶. Antibody Responses to *Porphyromonas gingivalis* Strains in a High-Risk Population. 86th General session of the IADR, July 4, 2008.
- 4) T. NAKAJIMA¹, R. AMANUMA², Y. AOKI², T. HONDA², T. OKUI², H. DOMON², K. KAJITA², N. TAKAHASHI², T. MAEKAWA², H. ITO², K. TABETA³, and K. YAMAZAKI³. Lymphoid and inflammatory

- chemokine expression in chronic periodontitis lesions. 86th General session of the IADR, July 5, 2008.
- 5) H. Ishizaki, M. Fukushima : Quantitative analysis of proximal wear of human enamel in vivo. #3162, IADR 86th General Session & Exhibition, Toronto, July 5, 2008.
 - 6) Stegaroiu R, Ejiri S, Kurokawa K, Sato T, Sato Y, Nomura S : Isotropic Heterogeneous FEM Model versus Isotropic and Anisotropic Homogeneous Models. The 86th General Session of IADR, Toronto (Canada), 2008.7.3, J Dent Res 87, Special Issue B, program number : 1246.
 - 7) Okumura N, Stegaroiu R, Nishiyama H, Kurokawa K, Kitamura E, Hayashi T, Nomura S. Finite Element Analysis of Implant-embedded Maxilla Model from CT Data. The 86th General Session of IADR, Toronto (Canada), 2008.7.3, J Dent Res 87, Special Issue B, program number : 1244.
 - 8) Kouji Katsura, Mikiko Saito, Kayoko Ito, Atsuko Igarashi, Takafumi Hayashi : The pulse Doppler findings of hyposalivation-relation to the number of drugs-. The 7th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology 2008 11. Nara prefectural new public hall. The 7th Asian Congress of Oral and maxillofacial Radiology.P83 November 20-22 2008 Nara Japan
 - 9) Nakamura A, Sakuma S, Yoshihara A, Deguchi T, Yagi M, Miyazaki H : Later effects of school-based caries preventive programs. 86th General Session of the IADR, Toronto (Canada), 2008年7月2-5日.
 - 10) Yagi M, Ogawa H, Sakuma S, Miyazaki H : Evaluation of preventive effect of school-based fluoride mouth-rinsing program in an area that dental caries is decreasing. The 8th Asian Academy of Preventive Dentistry, Jeju (Korea), 2008年11月5-8日.
 - 11) 鈴木 昭, 藤沢直子, 水品きく枝, 馬場菜緒, 堀井愛子, 笠井友治郎 : 施設入所承認申立等裁判例にみる子ども虐待の実証的研究. 日本子ども虐待防止学会, 2008年12月14日. 日本子ども虐待防止学会第14回学術集会 広島大会プログラム・抄録集 : 118, 2008.
 - 12) 飯田明彦, 小山貴寛, 高木律男, 芳澤享子, 小野和宏 : 口唇口蓋裂手術に対する培養複合口腔粘膜の応用. 日本形成外科学会関東支部第76回新潟地方会, 新潟市, 2008年2月18日.
 - 13) 飯田明彦, 小山貴寛, 高木律男, 芳澤享子, 齊藤 力, 齋藤 功, 小野和宏 : 口唇口蓋裂手術における培養複合口腔粘膜の応用. 第32回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 広島市, 2008年5月29日, 日口蓋誌 33 (2) : 157頁, 2008.
 - 14) 古里美幸, 森田修一, 朝日藤寿一, 小野和宏, 高木律男, 齊藤 力, 齋藤 功 : 片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について. 第32回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 広島市, 2008年5月28-29日, 日口蓋誌 33 (2) : 234頁, 2008.
 - 15) 竹山雅規, 小野和宏, 高木律男, 齋藤 功 : 骨延長術による上顎歯列弓の拡大を併用して矯正治療を行った片側性唇顎口蓋裂の一例. 第32回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 広島市, 2008年5月28-29日, 日口蓋誌 33 (2) : 242頁, 2008.
 - 16) 寺尾恵美子, 児玉泰光, 永田昌毅, 小野和宏, 飯田明彦, 高木律男 : Hotz 床併用二段階口蓋形成手術法における唇顎口蓋裂児の言語評価 - ナゾメータによる客観的評価. 第32回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 広島市, 2008年5月28-29日, 日口蓋誌 33 (2) : 253頁, 2008.
 - 17) 小野和宏, 大内章嗣, Stegaroiu Roxana, 八木 稔, 黒川孝一, 高橋英樹, 五十嵐敦子, 隅田好美, 石川裕子, 柴田佐都子, 中島俊一, 山崎和久, 福島正義, 富沢美恵子, 鈴木 昭, 前田健康 : 口腔保健と福祉の融合を目指した学習者主体 PBL カリキュラムの構築. 第27回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 東京都, 2008年7月12日, 同プログラム・抄録集 : 79頁, 2008.
 - 18) 渡邊直子, 八巻正樹, 小野和宏, 前田健康, 齋藤 功 : 歯科矯正学実習における視覚教材の開発. 第27回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 東京都, 2008年7月11-12日, 同プログラム・抄録集 : 96頁, 2008.
 - 19) 北村正博, 古市保志, 藤井健男, 川浪雅光, 國松和司, 島内英俊, 笹野高嗣, 山田 了, 小方頼昌, 小田茂, 和泉雄一, 伊藤公一, 中川種昭, 新井 高, 吉江弘正, 山崎和久, 福田光男, 野口俊英, 渋谷俊昭, 高柴正悟, 栗原英見, 永田俊彦, 横田 誠, 濱地貴文, 前田勝正, 廣藤卓雄, 坂上竜資, 原 宜興, 町頭三保, 五百蔵一男, 山田 聡, 村上伸也 KCB-1D (FGF-2) 歯周組織再生試験 (後期第Ⅱ相) その1—有効性の評価—, 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008.4.25, 日歯周誌 50 巻 春季特別号 : 169, 2008
 - 20) 山田 聡, 古市保志, 藤井健男, 川浪雅光, 國松和司, 島内英俊, 山田 了, 小方頼昌, 小田 茂, 和泉雄一, 伊藤公一, 中川種昭, 新井 高, 吉江弘正, 山崎和久, 福田光男, 野口俊英, 渋谷俊昭, 高柴正悟, 栗原英見,

- 永田俊彦, 横田 誠, 濱地貴文, 前田勝正, 廣藤卓雄, 坂上竜資, 原 宜興, 町頭三保, 五百歳一男, 北村正博, 村上伸也 KCB-1D (FGF-2) 歯周組織再生試験 (後期第Ⅱ相) その2—安全性の評価—, 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008.4.25, 日歯周誌 50 卷 春季特別号: 170, 2008
- 21) 高橋直紀, 土門久哲, 本田朋之, 吉江弘正, 安孫子宜光, 多部田康一, 山崎和久 歯周炎における小胞体ストレスの関与, 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008.4.25, 日歯周誌 50 卷 春季特別号: 203, 2008
- 22) 久枝 綾, 成石浩司, 工藤値英子, 安孫子宜光, 小方頼昌, 島内英俊, 長澤敏行, 永田俊彦, 沼部幸博, 野口俊英, 日野孝宗, 村上伸也, 山崎和久, 吉村篤利, 新井英雄, 高柴正悟 歯周病細菌感染度診断のための血清 IgG 抗体価検査の臨床的有用性—血清バンク (バイオバンクジャパン) 試料での検討—, 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008.4.25, 日歯周誌 50 卷 春季特別号: 214, 2008
- 23) 工藤値英子, 成石浩司, 久枝 綾, 安孫子宜光, 小方頼昌, 島内英俊, 長澤敏行, 永田俊彦, 沼部幸博, 野口俊英, 日野孝宗, 村上伸也, 山崎和久, 吉村篤利, 新井英雄, 高柴正悟 歯周病細菌感染度検査のための指尖血漿 IgG 抗体価の臨床的評価, 第51回春季日本歯周病学会学術大会, 大宮, 2008.4.25, 日歯周誌 50 卷 春季特別号: 215, 2008
- 24) 中島貴子, 天沼亮子, 青木由香莉, 本田朋之, 奥井隆文, 土門久哲, 梶田桂子, 高橋直紀, 前川知樹, 伊藤晴江, 多部田康一, 山崎和久 歯周炎組織における炎症性および恒常性維持ケモカインの発現バランス, 第128回日本歯科保存学会2008年度春季学会 (第128回), 新潟, 2008.4.25, 日歯保存誌 51 卷: 102, 2008
- 25) 山崎和久, 多部田康一, 中島貴子, 前川知樹, 高橋直紀, 梶田桂子, 奥井隆文, 土門久哲, 本田朋之, 伊藤晴江. 歯周炎マウスモデルにおける口腔内感染が血清脂質, 大動脈組織の遺伝子発現変化に与える影響—歯周炎が全身に与える影響のエビデンス—, 第29回日本炎症・再生医学会, 東京, 2008.7.10, 炎症・再生 28 卷 4 号 (プログラム予稿集): 358, 2008
- 26) Tabeta K, Maekawa T, Takahashi N, Kajita K, Okui T, Domon H, Ito H, Nakajima T and Yamazaki K. Oral infection of periodontal bacteria effects on serum lipid levels and gene expression profiles of the aorta in mice model -Systemic influence of periodontitis. 第40回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 筑波, 2008.7.10-11.
- 27) 高橋直紀, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 中島貴子, 多部田康一, 工藤値英子, 高柴正悟, 荅口 進, 西村英紀, 山崎和久:冠動脈心疾患患者における歯周病原細菌に対する抗体応答および動脈硬化リスクマーカーの検討. 第1回日本口腔検査学会 総会・学術大会, 東京, 2008.8.23, プログラム抄録集: 22
- 28) 本田朋之, 青木由香莉, 高橋直紀, 前川知樹, 中島貴子, 伊藤晴江, 多部田康一, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎組織における Th17 関連サイトカイン/マーカーの遺伝子発現解析, 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008.10.19, 日歯周誌 50 卷 秋季特別号: 88, 2008
- 29) 奥井隆文, 伊藤晴江, 本田朋之, 中島貴子, 多部田康一, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎組織から樹立した CD4⁺T 細胞ラインにおける Th17 関連分子の解析. 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008.10.19, 日歯周誌 50 卷 秋季特別号: 89, 2008
- 30) 高橋直紀, 本田朋之, 奥井隆文, 土門久哲, 吉江弘正, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞のケモカイン産生における IRAK-M の関与. 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008.10.19, 日歯周誌 50 卷 秋季特別号: 95, 2008
- 31) 中島貴子, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 伊藤晴江, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎が血清中の動脈硬化関連炎症マーカーに及ぼす影響. 第51回秋季日本歯周病学会学術大会, 四日市, 2008.10.19, 日歯周誌 50 卷 秋季特別号: 123, 2008
- 32) 中島貴子, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 高橋直紀, 前川知樹, 天沼亮子, 伊藤晴江, 多部田康一, 山崎和久. 歯周疾患が脂質代謝に及ぼす影響. 第21回日本歯科医学会総会, 横浜, 2008.11.16, 日本歯科医師会雑誌 第61巻5号: 151, 2008
- 33) Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Honda T, Tabeta K, and Yamazaki K. Oral infection of *Porphyromonas gingivalis* induces pro-atherogenic change in mice. 第56回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) 総会・学術大会, 名古屋市, 2008.11.29, プログラム抄録集: 90, 2008
- 34) 韓 臨麟, 岡本 明, 福島正義, 興地隆史: 長期水中保管およびブラシ研磨がフロアブルレジンの表面性状に与える影響, 平成20年度春期第15回日本歯科理工学会学術講演会, 鶴見, 平成20年4月26日~27日, 歯材誌, 27 (2), P150, 2008
- 35) 浅井哲也, 風間龍之輔, 興地隆史, 福島正義: 新規ミリングユニット CEREC3MCXL で製作された歯科用

- CAD/CAM 修復物の適合性, 日本歯科保存学会 2008 年度春季学術大会 (第 128 回), 新潟, 平成 20 年 6 月 5 ~ 6 日, 日歯保存誌, 51 巻, P133, 2008 年
- 36) 武井典子, 藤本篤士, 木本恵美子, 竹中彰治, 福島正義, 奥瀬敏之, 渡邊 勉, 石川正夫, 高田康二, 渋谷耕司, 岩久正明: 高齢者の口腔ケアに関する研究 (第 3 報) —前・後期の口腔環境の検査法と口腔機能管理プログラムの検討—, 第 19 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 岡山, 2008 年 6 月 19 ~ 20 日, プログラム・事前抄録集, P114
- 37) 藤本篤士, 武井典子, 木本恵美子, 竹中彰治, 福島正義, 奥瀬敏之, 渡邊 勉, 石川正夫, 高田康二, 岩久正明: ケアハウス入所者への介護予防プログラムが口腔機能の維持向上と WHO/QOL に及ぼす効果, 第 19 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 岡山, 2008 年 6 月 19 ~ 20 日, プログラム・事前抄録集, P125
- 38) 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史: 歯科用 CAD/CAM で使用されるマシーナブルセラミックスの破折強度について—焼成およびグレーディングの影響—, 平成 20 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 平成 20 年 7 月 19 日, 抄録集 P15
- 39) 韓 臨麟, 岡本 明, 福島正義, 興地隆史: 試作フロアブルレジン GCUC-370 の各種ドリンク浸漬後の表面性状, 平成 20 年度秋期第 52 回日本歯科理工学会学術講演会プログラムおよび講演集, 千里, 2008 年 9 月 20 日, 歯材器, 27 (5), p364, 2008 年
- 40) 風間龍之輔, 浅井哲也, 興地隆史, 福島正義: セルフアドヒーシブセメントにより接着されたオールセラミッククラウンの封鎖性, 第 19 回日本歯科審美学会総会・学術大会プログラム・抄録集 P71, 新潟, 平成 20 年 10 月 12 ~ 13 日
- 41) 武井典子, 石川正夫, 高田康二, 竹中彰治, 福島正義, 岩久正明: 子どもの発育と口腔の審美性について—子育ての時期における母親の意識—, 第 19 回日本歯科審美学会総会・学術大会プログラム・抄録集 P114, 新潟, 平成 20 年 10 月 12 ~ 13 日
- 42) 武井典子, 藤本篤士, 竹中彰治, 福島正義, 石川正夫, 高田康二, 渋谷耕司, 岩久正明: 自立高齢者の口腔の健康と QOL の関連性, 第 21 回日本歯科医学会総会プログラム・事前抄録集, P128, 神奈川, 2008.11.16.
- 43) 奥村暢旦, Stegaroiu Roxana, 西山秀昌, 黒川孝一, 北村絵里子, 林 孝文, 野村修一: ヘリカル CT 応用上顎骨インプラント植立モデルの三次元有限要素解析 ~ 従来型解析モデルとの比較検討 ~. 平成 20 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2008 年 7 月 19 日, 新潟歯学会誌, 38 (2): 75-76, 2008.
- 44) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 五十嵐敦子, 井上 誠: ワッテ法を用いた唾液分泌量測定に関する検討. 第 14 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 千葉 9 月 13, 14 日 幕張メッセ 2008 同会学術集会プログラム・予稿集 361 ページ 2008
- 45) 五十嵐敦子, 川崎真依子, 坂井祐次, 上野真由美, 野村修一: 高齢者の嚥下機能に及ぼす食品物性の影響について. 第 21 回日本歯科医学会総会 パシフィコ横浜 11 月 14-16 日, 2008. 同会学術集会プログラム・予稿集, 130 ページ. 2008 歯界展望特別号, 331 ページ, 2009 年
- 46) 船山さおり, 伊藤加代子, 濃野 要, 人見康正, 宮崎秀夫, 五十嵐敦子: 高齢者における精神健康度と口腔乾燥に関する検討. 平成 20 年新潟歯学会, 第 2 回例会, 11 月 8 日 (土) 新潟
- 47) 中村 文, 佐久間汐子, 葭原明弘, 八木 稔, 出口知也, 宮崎秀夫: フッ化物洗口プログラムをベースとした選択的シーラントの 20 歳成人におけるう蝕予防効果, 第 41 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2008 年 4 月 26 日, 新潟歯学会誌, 38 (1): 47, 2008.
- 48) 七沢久子, 八木 稔, 黒川孝一, 山内里央, 矢崎 篤, 手塚知恵, 畑 秀明, 一瀬 明, 山田 保, 鈴木龍児, 大内章嗣, 宮崎秀夫: 歯科衛生士におけるフッ化物局所応用の術式と指導に関するアンケート調査, 第 19 回口腔衛生学会甲信越地方会, 新潟市, 2008 年 8 月 2 日, 口腔衛生会誌, 39 (1): 62, 2009.
- 49) 山内邦生, 八木 稔, 花形哲夫, 佐久間汐子, 飯野 俊, 有泉秀記, 望月忠隆, 山内皓央, 鎌田 巖, 古屋高清, 小倉 信, 宮崎秀夫: 歯科医師における口腔管理事業への参加傾向とフッ化物応用の推奨に関するアンケート調査, 第 19 回口腔衛生学会甲信越地方会, 新潟市, 2008 年 8 月 2 日, 口腔衛生会誌, 39 (1): 62, 2009.
- 50) 八木 稔, 七沢久子, 黒川孝一, 古屋高清, 花形哲夫, 大内章嗣, 宮崎秀夫: 歯科衛生士に対するフッ化物応用についての知識と普及に関するアンケート調査, 第 57 回日本口腔衛生学会総会, さいたま市, 2008 年 10 月 2-4 日, 口腔衛生会誌, 58 (4): 389, 2008.
- 51) 山内邦生, 八木 稔, 矢崎 篤, 一瀬 明, 山内里央, 花形哲夫, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 歯科医師に対するう蝕減少とフッ化物応用の普及に関するアンケート調査, 第 57 回日本口腔衛生学会総会, さいたま市, 2008 年 10

- 月 2- 4 日, 口腔衛生会誌, 58 (4) : 390, 2008.
- 52) 隅田好美: 患者・専門職の〈認識のずれ〉—筋萎縮生息策硬化症患者の身体介護 (口腔ケア) の受け入れに対する検討—, 日本社会福祉学会第 56 回大会, 岡山, 2008 年 10 月 12 日, 日本社会福祉学会第 56 回全国大会報告用紙集, 194,2008
 - 53) 隅田好美, 野水伸子, 大平勇二, 井浦正子, 渡部ミサヲ, 尾崎陽子, 齋藤 博, 小池亮子, 西澤正豊: 新潟県難病相談支援センターと患者会との連携の構築—相談業務から見える課題—, 第 13 回日本在宅ケア学会学術集会, 大阪, 2009 年 3 月 15 日 日本在宅ケア学会学術集会講演集, 98,2008
 - 54) 大島勇人, 石川裕子, 鈴木啓展, 監物新一, 大島邦子: マウス臼歯舌下部への他家移植後の歯髓組織幹細胞の動態と硬組織形成能について. 第 50 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 東京, 2008 年 9 月 23-25 日, J Oral Biosci 50 (Suppl) : 128 頁, 2008.
 - 55) 石川裕子, 大島邦子, 大島勇人: ラット臼歯歯髓組織幹細胞の局在と歯の損傷後の分化能について. 平成 20 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2008 年 7 月 19 日, 新潟歯学会雑誌 38 (2) : 132 頁, 2008.
 - 56) 大島勇人, 石川裕子, 依田浩子, 鈴木啓展, 監物新一, 大島邦子, 本田雅規, 石井有実子, 渡辺信和: ラット臼歯歯髓に存在する組織幹細胞: BrdU ラベル細胞と SP 細胞との相関について. 第 8 回日本再生医療学会総会, 東京, 2009 年 3 月 4- 6 日, 再生医療 8 (Suppl) : 208 頁, 2009.
 - 57) 大島勇人, 石川裕子, 依田浩子, 鈴木啓展, 監物新一, 大島邦子: マウス舌下部への臼歯および歯冠部の他家移植後の歯髓組織幹細胞の動態と硬組織形成能について. 第 114 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岡山, 2009 年 3 月 28-30 日, 解剖雑誌 84 (Suppl) : 140 頁, 2009.
 - 58) 柴田佐都子, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 多系統萎縮症 (MSA) における口腔機能障害と口腔衛生. 第 20 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2008 年 7 月 19 日, 新潟歯学会雑誌, 38 (2) : 77 項, 2008.
 - 59) 柴田佐都子, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 多系統萎縮症 (MSA) における口腔機能障害の特徴: 第 14 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 幕張, 2008 年 9 月 14 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 12 (3) : 446 項, 2008.
 - 60) 大瀧祥子, 柴田佐都子: 多系統萎縮症 (MSA) 患者の摂食・嚥下機能障害の特徴: 第 25 回日本障害者歯科学会学術大会, 東京, 2008 年 10 月 10 日, 日本障害者歯科学会雑誌, 29 (3) : 367 項, 2008.

【研究会発表】

- 1) 隅田好美, 西澤正豊, 野水伸子, 大平勇二, 井浦正子, 渡部ミサヲ, 尾崎陽子, 齋藤 博, 小池亮子: 新潟県難病相談支援センターの活動と課題, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の自立支援体制の確立に関する研究発表, 東京, 2009 年 1 月 12 日

【受賞】

- 1) 碓井由紀子, 小野和宏, 朝日藤寿一, 幸地省子, 高木律男, 齋藤 功, 八木 稔: 二次的顎裂部骨移植の時期の違いが顎顔面の成長発育におよぼす影響について. 2008 年日本口蓋裂学会雑誌優秀論文賞, 2008 年 5 月 29 日

【研究費獲得】

- 1) 研究代表者 鈴木 昭: 相談の社会化と子ども虐待のない福祉コミュニティの形成に関する実証的研究. 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 計 1,820 千円.
- 2) 富沢美恵子, 鈴木 昭, 佐野富子: 歯科検診を応用した施設入所被虐待児のセルフ・エスティーム啓発プログラム, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20592396, 2008.
- 3) 福島正義, 児玉臨麟: 後期高齢者の多発性根面う蝕に対するフッ化ジアンミン銀による薬物療法. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20592450, 2008.
- 4) 五十嵐敦子: 高齢者の口腔乾燥による嚥下機能と食品物性に関する基礎的研究 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 19592233 2008
- 5) Stegaroiu Roxana, 野村修一, 黒川孝一: 骨梁をシミュレートした三次元有限要素モデルはインプラント失敗の機構を明らかにする. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 18592117, 2008.
- 6) 魚島勝美, Stegaroiu Roxana, 藤井規孝: 咬合力による骨組織改造の高精度予測. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 20390487, 2008.

【その他】

- 1) 鈴木 昭：新潟市西区地域福祉計画等策定検討委員会委員として「新潟市西区地域福祉計画・地域福祉活動計画『いきいき西区ささえあいプラン』」策定に参画。平成20年3月27日～21年3月31日。
- 2) 鈴木 昭：新潟県母子家庭及び寡婦自立促進計画検討委員会検討委員（座長）として「新潟県母子家庭及び寡婦自立促進計画」の見直し検討に参画，とりまとめ。平成20年12月25日～平成21年3月31日。
- 3) 鈴木 昭：地域福祉課題の析出と解決の手法（児童虐待をなくす地域づくり）。福祉行政新任職員研修会，新潟県社会福祉協議会，平成20年6月5日。
- 4) 鈴木 昭：障害者（児）福祉の制度とサービス。平成20年度新発田市訪問介護員養成研修「新発田市ふれあい学院」，新発田市社会福祉協議会，新発田市，平成20年7月20日。
- 5) 鈴木 昭：私はこう動いた。新潟市秋葉区子ども虐待予防事業専門研修会，新潟市，平成20年10月3日。
- 6) 鈴木 昭：福祉人材の確保と育成。新潟県老人福祉施設協議会第2ブロック部会研修会，新潟市，平成20年10月24日。
- 7) 鈴木 昭：研究発表3児童福祉分科会 助言・講評。平成20年度「社会福祉施設関係職員研究発表会，新潟県社会福祉協議会，新潟市，平成21年2月24日。
- 8) 大内章嗣，吉江弘正，野村修一，隅田好美，石川裕子，伊藤加代子：新潟大学公開講座介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座，「口腔清掃介助の実際（実習）」，新潟，2008年7月8日
- 9) 福島正義：長期臨床経過例からみた接着性審美修復物の信頼性 - レジンからラミネートベニアまで - ，新潟大学歯学部同窓会首都圏セミナー，東京，キャンパス・イノベーションセンター，平成20年8月24日
- 10) 福島正義：総務報告，日本歯科審美学会ニュースレター，Vol.16，Winter，2008
- 11) 福島正義：庶務報告，歯科審美，20（2），151-153,2008
- 12) 福島正義：会則検討委員会および国内渉外委員会報告，日本歯科審美学会ニュースレター，Vol.17 Summer，2008
- 13) 五十嵐 敦子：第7回 更年期と加齢のヘルスケア研究会 学術会議ラウンドテーブル 2008年11月24日 都市センターホテル No9. 更年期女性と味覚——おいしさの原点（安心・安全）座長名 五十嵐 敦子
- 14) 隅田好美：新潟県難病相談支援センター研修事業 ピアカサポート初心者研修，新潟市，2009年2月27日，3月2日，3月28日，3月29日
- 15) 隅田好美：山形県歯科医師会障がい者歯科研修会 社会福祉の視点を取り入れた口腔ケア—難病患者の主観的ニーズへの支援—，酒田市，2009年3月7日
- 16) 八木 稔：学校保健におけるむし歯予防とフッ化物応用について，水原中学校フッ素洗口説明会及び講演会，阿賀野市，2009年2月10日。
- 17) 八木 稔：学校保健におけるむし歯予防とフッ化物応用について，水原小学校フッ素洗口説明会及び講演会，阿賀野市，2009年2月20日。
- 18) 八木 稔：学校保健におけるむし歯予防とフッ化物応用について，安野小学校フッ素洗口説明会及び講演会，阿賀野市，2009年2月28日。
- 19) 石川裕子：歯科衛生士就労促進研修会「臨床現場での診療補助」富山県，2009年2月22日（日）
- 20) 石川裕子：歯科保健事業従事者研修会 「支援」のための歯科保健指導—コミュニケーションスキルを使用して—，新潟市，2009年3月3日（火）
- 21) 柴田佐都子：「おいしく食べてイキイキ健康」。新潟市委託事業曾野木地区地域包括センターにおける家族介護教室，新潟，2008年7月29日。

歯科総合診療部

【著 書】

- 1) 渡邊清志（分筆）：歯科技工辞典 第1版第17刷，医歯薬，東京，2008。
- 2) 渡邊清志：チェアサイドとラボサイドで共有したい咬合平衡が向上するコンプリートデンチャー製作法～調節彎曲値の改良と歯科技工～，医歯薬，東京，2009。